

2023年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）



2023年4月13日

東・福

上場会社名 株式会社エムビーエス 上場取引所
 コード番号 1401 URL <https://www.homemakeup.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 山本 貴士
 問合せ先責任者（役職名） 取締役経営企画室長兼（氏名） 栗山 征樹 (TEL) 0836-54-1414
 管理部長
 四半期報告書提出予定日 2023年4月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期第3四半期の業績（2022年6月1日～2023年2月28日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第3四半期	2,697	3.0	238	16.3	262	18.4	177	17.7
2022年5月期第3四半期	2,619	34.4	205	169.9	222	109.4	150	△8.3
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年5月期第3四半期	23.41		—					
2022年5月期第3四半期	19.59		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年5月期第3四半期	3,792	3,074	81.1
2022年5月期	3,841	2,983	77.7

(参考) 自己資本 2023年5月期第3四半期 3,074百万円 2022年5月期 2,983百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2023年5月期	—	0.00	—		
2023年5月期(予想)				6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年5月期の業績予想（2022年6月1日～2023年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,200	4.2	462	4.9	500	5.1	340	4.3	44.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年5月期3Q	7,732,000株	2022年5月期	7,732,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2023年5月期3Q	200,000株	2022年5月期	100,000株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年5月期3Q	7,584,922株	2022年5月期3Q	7,702,784株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する前提に基づいたものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等について、添付資料2頁「1. 当四半期に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもと経済社会活動の正常化が進み、個人消費の持ち直しをはじめ景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、ロシアのウクライナ侵攻の長期化に伴う資源・エネルギー価格の高騰に加え、世界的なインフレの進行抑制に対する欧米諸国での政策金利の引き上げに伴う大幅な為替変動等、依然として厳しい状況が続く先行き不透明な状況となっております。

当社が属する建設業界におきましては、公共建設投資は国土強靱化計画のインフレ対策等により底堅さを維持し、また民間建設投資も企業の設備投資意欲の高まりにより持ち直しの動きが見られております。

しかしながら、施工を行う技術者不足が解消されていないことに加え、資材価格や労務費といった建設コストの高騰が工事収益を圧迫する等、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社は、引き続き感染予防に組織的に取り組みつつ、既存店におけるパートナー（工務店等）との関係強化に取り組み、受注拡大を図って参りました。また、原価低減と経費削減、工事採算性を重視した受注方針の徹底、施工管理と品質・技術の向上、定期的な施工会議を開き安全・良質な工事の提供に努めるとともに、人材採用及び育成にも積極的に取り組み、業容拡大や収益力の向上等も図って参りました。

これらにより、当第3四半期累計期間における売上高は、2,697,562千円（前年同期比3.0%増）、営業利益は、売上高の増加に伴う売上総利益の増加により238,871千円（前年同期比16.3%増）となりました。経常利益は、262,862千円（前年同期比18.4%増）、四半期純利益は、177,577千円（前年同期比17.7%増）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

(ホームメイキャップ事業)

ホームメイキャップ事業におきましては、工事の一時中断や工事の延期、受注の遅れや着工の後ろ倒し等の影響を受けたものの、一部大型改修工事が順調に進捗したことから、売上高は2,519,590千円（前年同期比0.3%増）となり、セグメント利益は380,967千円（前年同期比8.4%増）となりました。

(建築工事業)

建築工事業におきましては、新築及び改修工事等が増加したため、売上高は174,373千円（前年同期比64.8%増）となり、セグメント利益は19,272千円（前年同期は6,699千円のセグメント損失）となりました。

(その他)

不動産売買取引を行う不動産事業とFC加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等で構成されるその他の事業におきましては、材料販売等の増加により、売上高は3,598千円（前年同期比80.2%増）となり、セグメント利益は1,308千円（前年同期比28.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産の部は、前事業年度末に比べ48,675千円減少し、3,792,673千円となりました。これは主に、現金及び預金の336,989千円の減少、仕掛販売用不動産の128,806千円の増加、電子記録債権の93,317千円の増加等によるものであります。

負債の部は、前事業年度末に比べ139,803千円減少し、718,413千円となりました。これは主に、支払手形の120,322千円の減少、未払法人税等の74,111千円の減少、工事未払金の30,306千円の増加等によるものであります。

純資産の部は、前事業年度末に比べ91,127千円増加し、3,074,259千円となりました。これは主に、利益剰余金の139,417千円の増加、自己株式の取得による50,700千円の減少等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月期の業績予想につきましては、2022年7月13日公表の業績予想数値から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年5月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,483,812	1,146,822
電子記録債権	31,373	124,691
受取手形、完成工事未収入金及び契約資産	774,592	766,521
売掛金	20,003	71,908
未成工事支出金	119,949	136,925
仕掛販売用不動産	111,189	239,995
原材料及び貯蔵品	18,225	16,220
その他	40,539	36,832
貸倒引当金	△10,335	△5,656
流動資産合計	2,589,350	2,534,261
固定資産		
有形固定資産	166,655	154,803
無形固定資産	30,772	21,727
投資その他の資産		
投資有価証券	304,070	307,539
投資不動産	448,948	447,354
その他	321,874	354,714
貸倒引当金	△20,324	△27,728
投資その他の資産合計	1,054,569	1,081,881
固定資産合計	1,251,997	1,258,412
資産合計	3,841,348	3,792,673
負債の部		
流動負債		
支払手形	298,097	177,775
工事未払金	245,266	275,573
買掛金	43,840	58,819
未払法人税等	84,129	10,018
完成工事補償引当金	43,453	50,530
その他	140,191	142,498
流動負債合計	854,978	715,215
固定負債		
資産除去債務	1,948	1,951
その他	1,290	1,247
固定負債合計	3,238	3,198
負債合計	858,216	718,413

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年5月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	391,329	391,329
資本剰余金	400,096	400,096
利益剰余金	2,217,983	2,357,401
自己株式	△51,853	△102,554
株主資本合計	2,957,556	3,046,273
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	25,575	27,986
評価・換算差額等合計	25,575	27,986
純資産合計	2,983,131	3,074,259
負債純資産合計	3,841,348	3,792,673

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年6月1日 至2022年2月28日)	当第3四半期累計期間 (自2022年6月1日 至2023年2月28日)
売上高	2,619,955	2,697,562
売上原価	1,880,595	1,874,402
売上総利益	739,359	823,160
販売費及び一般管理費	533,973	584,288
営業利益	205,386	238,871
営業外収益		
不動産賃貸収入	11,297	11,167
有価証券利息	10,921	13,109
貸倒引当金戻入額	-	442
その他	4,288	6,048
営業外収益合計	26,506	30,768
営業外費用		
支払利息	79	23
貸倒引当金繰入額	1,808	-
支払手数料	1,260	1,831
減価償却費	1,996	3,778
飲食事業費用	3,802	-
その他	880	1,144
営業外費用合計	9,827	6,777
経常利益	222,065	262,862
特別利益		
固定資産売却益	3,335	816
特別利益合計	3,335	816
特別損失		
固定資産売却損	-	42
固定資産除却損	0	-
特別損失合計	0	42
税引前四半期純利益	225,401	263,636
法人税、住民税及び事業税	69,891	86,317
法人税等調整額	4,608	△258
法人税等合計	74,500	86,058
四半期純利益	150,901	177,577

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年7月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式100,000株の取得を行っております。
この結果、当第3四半期会計期間末において、自己株式が50,700千円増加しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染拡大の影響による会計上の見積りについて、前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載いたしました仮定に重要な変更はございません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイキャ ップ事業	建築工事業	小計		
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,512,143	105,815	2,617,959	1,996	2,619,955
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,512,143	105,815	2,617,959	1,996	2,619,955
セグメント利益又は損失(△)	351,530	△6,699	344,830	1,020	345,850

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、F C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	344,830
「その他」の区分の利益	1,020
全社費用(注)	△140,464
四半期損益計算書の営業利益	205,386

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイキャ ップ事業	建築工事業	小計		
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,519,590	174,373	2,693,964	3,598	2,697,562
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,519,590	174,373	2,693,964	3,598	2,697,562
セグメント利益	380,967	19,272	400,240	1,308	401,549

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、FC加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	400,240
「その他」の区分の利益	1,308
全社費用(注)	△162,677
四半期損益計算書の営業利益	238,871

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期累計期間(自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイキャ ップ事業	建築工事業	計		
ホームメイキャップ工事	2,196,793	—	2,196,793	—	2,196,793
足場工事	50,049	—	50,049	—	50,049
建築工事	—	105,815	105,815	—	105,815
材料販売	265,300	—	265,300	1,096	266,397
その他	—	—	—	900	900
顧客との契約から生じる収益	2,512,143	105,815	2,617,959	1,996	2,619,955
外部顧客への売上高	2,512,143	105,815	2,617,959	1,996	2,619,955

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、F C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

当第3四半期累計期間(自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ホームメイキャ ップ事業	建築工事業	計		
ホームメイキャップ工事	2,182,821	—	2,182,821	—	2,182,821
足場工事	48,953	—	48,953	—	48,953
建築工事	—	172,274	172,274	—	172,274
材料販売	287,815	2,098	289,913	2,948	292,862
その他	—	—	—	650	650
顧客との契約から生じる収益	2,519,590	174,373	2,693,964	3,598	2,697,562
外部顧客への売上高	2,519,590	174,373	2,693,964	3,598	2,697,562

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、F C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。